

まちづくり達成状況報告（総括シート）

① 総合計画上の位置付け

施策の大綱	I 市民参画の推進
施策の目標	1. 参画と協働の仕組みをつくり、活動の輪を広げる



② 施策と関連部署

施策	内容（関連シート No.）	関連部署
市民協働・地域コミュニティ	・市民協働の推進（No.1） ・地域コミュニティの活性化（No.2）	市民と共に考える課
ダイバーシティ	・男女共同参画の推進（No.3） ・多様性のある社会の実現（No.4）	人権推進課
都市間交流・多文化共生	・都市間交流の推進（No.5・6） ・多文化共生の推進（No.7）	常創戦略課、商工観光課、市民と共に考える課
人権	・人権尊重のまちづくりの推進（No.8） ・人権啓発・教育の推進（No.9）	人権推進課
情報発信	・情報発信の強化（No.10） ・シティプロモーションの推進（No.11） ・市民との対話の充実（No.12）	秘書課、常創戦略課

③ 主要成果指標

（※概要欄 / ・：取組 →：方向性）

① 地域組織の運営数（No.2）	（概要）
2021 年度実績：0 地区 2023 年度実績：0 地区 2027 年度目標：15 地区 将来にわたり安全・安心で心豊かに暮らせる地域社会を実現するために、地域のリーダーの発掘や育成の支援を行うことを通して、地域運営組織を地区公民館・文化センター区の単位で設立することを目指します。	・ 全地区（15 地区）において複数回の意見交換会を実施し、地域コミュニティの構築に向けた意識の醸成を図りました。 → 今後は、モデル地区を選定し、準備委員会設立に向けた協議を重ねていくとともに、引き続き意見交換会を実施していきます。
② 多文化共生推進員（No.7）	（概要）
2021 年度実績：0 人 2023 年度実績：0 人 2027 年度目標：100 人（修正） 多くの外国人が暮らす本市において言語や文化の違いを認め合う多文化共生社会を実現するために、外国人と日本人との間の橋渡し役を担う多文化共生推進員を 100 人配置することを目指します。	・ JOSO ワールドフェスタの実施にあたり、企業、市民活動団体等と国際交流関係団体が連携し開催したことにより、多文化共生推進員の配置につながる環境を創出することができました。 → 多文化共生推進員を養成し、日本人と外国人が相互に助け合える多文化共生のまちを目指します。
③ 市ホームページ閲覧数（No.10）	（概要）
2021 年度実績：月間 257,381PV 2023 年度実績：月間 368,785PV 2027 年度目標：月間 282,381PV 本市では、広報紙や SNS などの各種情報発信媒体から、豊富な情報が掲載できる市ホームページへ誘導する仕組みの構築を推進しています。スマートフォンの普及促進やプッシュ通知の活用により、市ホームページ閲覧数の増加を目指します。	・ 道の駅の開業の効果もあり、多様な情報発信媒体を効果的に活用、情報発信したことで、アクセス数や登録者数の増加につなげることができました。 → 市職員の情報発信に対する意識向上を図り、「伝える」から「伝える」への意識改革や鮮度の高い情報発信を強化します。